

2016年7月 キューバ情勢

【概況】

1 内政

- (1) 2016年上半期のキューバへの渡航者が前年同期比11.7%増
- (2) 閣僚の交代（文化大臣）
- (3) 人民権力全国議会第8立法期第7回通常会期
- (4) 閣僚の交代（経済企画大臣，高等教育大臣）
- (5) モンカダ兵営等襲撃63周年記念式典

2 外交

- (1) 米国政府が米国航空会社8社に対してハバナへの就航を許可
- (2) 対イタリア債務リスケ合意
- (3) 米キューバ規制協議の開催
- (4) 米キューバ移民協議の開催
- (5) 黄川田外務大臣政務官のキューバ訪問
- (6) サウジアラビアとキューバの経済協力に関する協定の署名
- (7) 麻薬取引に関する米キューバ間協議の開催
- (8) 補償に関する米キューバ間協議の開催
- (9) 米キューバ間民間航空安全当局間の合意

【本文】

1 内政

- (1) 2016年上半期のキューバへの渡航者が前年同期比11.7%増

6日，マレロ・キューバ観光大臣は，2016年上半期のキューバへの渡航者が前年同期比11.7%増の2,147,600人となったと発表した。特に米国からの渡航者は，前年同期比83.9%増であった。

- (2) 閣僚の交代

8日，国家評議会は，ゴンザレス文化大臣を解任し，プリエト国家評議会議長顧問を暫定的に文化大臣とする旨発表した。

- (3) 人民権力全国議会第8立法期第7回通常会期

ア 8日，人民権力全国議会第8立法期第7回通常会期が行われ，客2015年予算執行の報告，経済の見通し，今後の経済社会政策方針について議論された。

イ 2016年第一四半期の成長率は，当初予測の半分の1%に留まる旨報告された。

ウ キューバの経済成長が減速している要因として，輸産品の国際価格の下落及びベネズエラの経済危機による石油供給の減少を明言した。

エ 今後の経済見通しについては、外貨不足による対外支出抑制（輸入制限）、債務の抑制、エネルギー消費の抑制が見込まれる。

オ 2015年の予算執行は、予測された経済成長を達成し、医療保健、教育等の支出を確保できた。徴税の確保、効率的な雇用が今後の歳入拡大の課題。

カ 第7回共産党大会で採択された2016年から2021年の経済社会政策方針について議論された模様。

（4）閣僚の交代（経済企画大臣、高等教育大臣）

ア 国家評議会は、議長の提案により、ムリージョ経済企画大臣の大臣職を解き、同職にカブリサス国家評議会副議長を当てることに合意した。

イ 同時にアラルコン高等教育大臣を解任し、サボリド同省第一次官を大臣にすることを決定した。

（5）モンカダ兵営等襲撃63周年記念式典

サンクティ・エスピリトゥで開催された。同地で開催されるのは、30年ぶり。同式典は、また、革命のリーダーであるフィデル・カストロの生誕90周年をも祝うものとなった。同式典には、ラウル・カストロ国家評議会議長、マチャード・ベントウラ党第二書記他党政治局員等、合計約6万人が参加した。記念式典の演説は、マチャード・ベントウラ党第二書記及びモンテアグド・サンクティ・エスピリトゥ県党第一書記が行った。

2 外交

（1）米国政府が米国航空会社8社に対してハバナへの就航を許可

ア 7日、米国は米国航空会社8社に対してハバナへの飛行を許可した旨フォックス運輸長官が声明を発出した。許可を得た会社は、アラスカ航空、アメリカン航空、デルタ航空、フロンティア航空、ジェットブルー航空、サウスウエスト航空、スピリット航空、ユナイテッド航空の8社。

イ ハバナへは、ジョージア州アトランタ、ノースキャロライナ州シャーロット、テキサス州ヒューストン、カリフォルニア州ロサンゼルス、ニュージャージー州ニューアーク、ニューヨーク、フロリダ州フォートローダーデール、マイアミ、オーランド、タンパの各空港から出発する。

（2）イタリアとの中長期債務リスク合意

12日、キューバとイタリアはハバナにおいて、パリクラブ中長期債務に関わる4つの二国間協定に署名した。キューバ側は、カブリサス閣僚議会副議長、イタリア側は、マリオ・ジロ・イタリア経済開発省外務国際協力担当副大臣及びイバン・スカルフアロット同省経済協力担当次官が署名した。

（3）米キューバ規制協議の開催

12日～13日、ハバナにおいて、規制に関する第3回の協議が行われた。協議では、米国の経済制裁の解除の状況等について評価し、また、キューバにおける通商・金融規制

に関して議論した。ヌニェス外国貿易・外国投資省次官とウェルズ国務省キューバ担当調整官が議長を務めた。

(4) 米キューバ移民協議の開催

ア 14日、米キューバ間の移民協議がハバナで開催され、ビダル外務省米国局長とクリーマー米国務省西半球担当次官補が両国を代表した。

イ 会合ではこれまで有効な条約の状況の評価、キューバ移民法の実施状況、移民ビザの発給、キューバ人の米国への一時滞在、不法移民に対する両国の取り組み、人身売買、文書偽造等について議論した。

(5) 黄川田外務大臣政務官のキューバ訪問

ア 20日～21日、黄川田外務大臣政務官がキューバを訪問した。

イ 訪問中、カブリサス国家評議会副議長、ロドリゲス外相、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣等と会談を行った。

(6) サウジアラビアとキューバの経済協力に関する協定の署名

21日、サウジアラビアとキューバの間で総額80億ドル相当となる経済協力の協定が2本署名された。一つは、カルデナス市の水の供給及び衛生に関する修繕のための長期借款の協定(29億ドル相当)であり、もう一つは、サウジアラビアの基金による輸出プログラムを通じた総額50億ドル相当のサウジアラビア製品の輸入のための資金供与に関する協定である。

(7) 麻薬取引に関する米キューバ間協議の開催

21日、ハバナにおいて、3回目の麻薬取引に関する当局間協議が行われた。また、麻薬違法取引対策の運用協力に関する取り決めに署名した。

(8) 補償に関する米キューバ間協議の開催(第775号)

28日、ワシントンにおいて、米キューバ間の補償に関する第2回情報交換協議が行われた。キューバ側はモレノ外務次官、イーガン国務省首席法律顧問が出席した。

(9) 米キューバ間民間航空安全当局間の合意

キューバ民間航空庁(IACC)と米運輸保安庁(TSA)の間で、両国の保安員をチャーター便及び定期航空便の運航に際し配置する合意に至った旨両国政府が認めた(日付は非公表)。

3 要人往来

(1) 来訪

ツルナダク・ボスニア・ヘルツェゴビナ外相

Nguyen Chi Vinh ベトナム防衛副大臣

黄川田外務大臣政務官

ムランボ＝ヌクカUNWom e n 事務局長

(2) 往訪

ディアスカネル国家評議会第一副議長のニカラグア訪問

マレロ観光大臣のペルー訪問